

資料2 富戸地区の津波対策（対応策の抽出（具体化）と優先順位づけ）

課題		担当	短期的対策（2～3年）	中期的対策（10年以内）	長期的対策	備考	
ハード 対策	護岸かさ上げ	伊東市				・レベル1津波による浸水被害を防ぐための護岸整備（かさ上げ）は当面実施しない。	
	避難路	伊東市		・避難路の整備(手摺り設置)(S-1-1) ・避難路の整備(避難用階段設置)(S-1-2) ・避難路の整備(石積み補強)(S-1-3)		・避難路が市が管理する道路になっている箇所については、地元と優先順位を協議しながら整備していきます。 ・避難路が民地になっている箇所については、市では整備できませんが材料（手すりのパイプ等）を支給することは可能です。	
ソフト 対策	避難路（表示）	伊東市	・津波避難方向の路面標示等の充実(S-2)				
	避難路（照明）	伊東市	・街灯の新設及びLED化に対する補助(S-3)			・町内会での設置となります。 ・ソーラー式街灯は協議が必要となります。	
	建物被害	伊東市	・無料耐震診断（昭和56年以前建築の木造住宅） ・耐震補強費用の補助			・「TOUKAI-0」による支援	
	情報連絡（事前準備）	・避難計画	伊東市	・津波避難計画作成			
		・津波浸水区域等の周知	伊東市	・総合防災ガイドブック（ハザードマップ）全戸配布			・平成28年3月配布済み ・随時更新
		・災害弱者対策	伊東市	・避難行動要支援者避難支援計画（個別計画）の作成			・市・自主防・民生委員等
		・自主防災会ごとの津波避難行動計画作成	民間	・自主防災会ごとの津波避難行動計画作成			・作成支援（伊東市）
	情報連絡（発災後）	・情報伝達手段の整備	伊東市	・Jアラート(全国瞬時警報システム)の活用 ・沿岸部等の同報無線のデジタル化 ・同報無線とその他の情報伝達手段（メールマガジン、ケーブルテレビ、FMラジオ、エリアメール）の自動連動化			・整備済み（伊東市）
・安否確認手段の整備		民間	・「災害用伝言ダイヤル171」の活用 ・家族間・近所であらかじめ取り決め			・活用方法等の周知（伊東市）	